「公共交通の利用促進について」

八戸市・八戸圏域地域公共交通活性化協議会

新型コロナウイルスにより人々の行動が変化し、公共交通の利用者数は以前の水準に戻っていません。また、人口減少社会も相まって、公共交通の利用者はますます減少しています。
このような状況で新たな利用者を増やすには、まず公共交通に触れる機会を増やし、多くの人に「バスが好き」と感じてもらうことが重要だと考えました。そして、その先に利用へとつながるよう、利用促進に取り組んできました。
今回は、実際に行った取り組みをご紹介します。

■取り組み事例

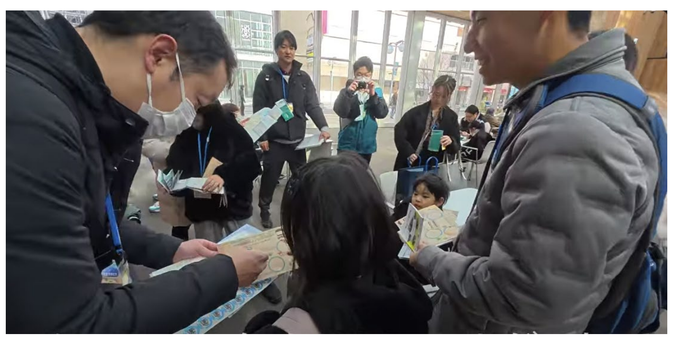
・はちのへホコテンでの様子

バスとの綱引き

運転手体験

ピンポン体験

・謎解きゲーム風バス利用体験の様子



★謎解きゲーム
小学生低学年親子を対象に、バスの時刻表の見方やバスの乗り方などを体験してもらったよ。
ハチカの使い方も知ってもらうため、バス以外にもショッピングセンターでの買い物などにもしてもらったよ。

■「バスが好き」から「バスに乗ろう」への行動変容を目指して

我々がバスをはじめとする公共交通の利用促進を行っているのは、利用者を増やすことが目的です。
「バスが好き」という気持ちから「バスに乗ろう」という行動変容につなげるのは、簡単なことではありません。だからこそ、非効率に思えるかもしれませんが、まずは「バスが好き」という人を増やし、その先にある「バスに乗ろう」という行動を増やしていきたいと考えています。

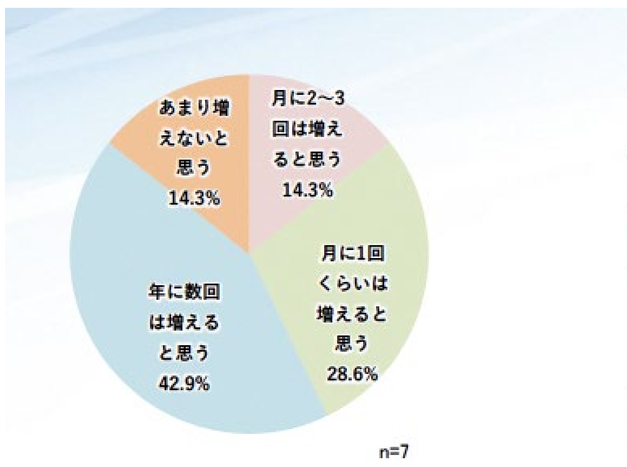


図　バスに乗る頻度の増加見込み

表　バスに乗る頻度の増加見込み

	回答数	割合
週1回以上増えると思う	0	0.0%
月に2～3回は増えると思う	1	14.3%
月に1回くらいは増えると思う	2	28.6%
2～3か月に1回くらいは増えると思う	0	0.0%
年に数回は増えると思う	3	42.9%
あまり増えないと思う	1	14.3%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	7	100.0%

問い合わせ先：八戸市総合政策部政策推進課交通政策グループ　TEL：0178-43-9124　E-mail:seisaku@city.hachinohe.aomori.jp